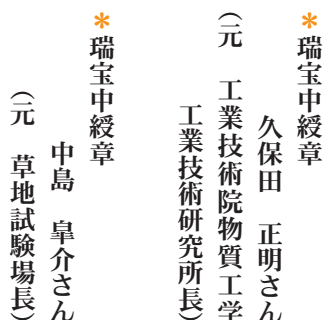


受章おめでとうございます

長年にわたり、社会のために尽力した叙勲などの受章者が発表され、市内では次の方々が受章しました。皆さん、受章おめでとうございます。



平成24年秋の叙勲



第19回危険業務従事者叙勲



※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

牛久の菊・名称決定

11月に開催した「第3回うしく菊まつり」会場で募集した、3種類の菊の名前が決定しました。第1回から続き、新種は今回で全9種になりました。



匿名希望の方(牛久市)命名

さと
里あかり (オレンジ花)



綾部みよさん(牛久市)命名

びより
牛久日和 (黄花)



木下君子さん(牛久市)命名

べに
牛久の紅 (赤花)

スポーツでまちおこし！

牛久かつばドッジボール大会



フランス製のカラーコート进行大会初使用



健闘した市内のチーム「牛久かつぱ〜ず。」

11月24日、牛久運動公園体育館で、「第9回牛久かつばドッジボール大会」が開催され、全国各地から小学生32チームが参加しました。

今大会から、日本ドッジボール協会の公認を得た市所有のカラーコートを初使用。始球式には、池辺勝幸市長と柳井哲也牛久市議会議長が参加し、熱戦の火蓋が切られて落とされました。市内から参加した「牛久かつぱ〜ず。」キャプテンの宮川和磨さん(牛久小学校6

年生)は「決勝トーナメントに進めるよう、全力で頑張ります」と抱負を語りました。

また、会場では、地元野菜とみそを使った「かつぱ汁」の無料配布や物産展、小学生を対象としたドッジボール教室なども開催され、各地から集まった参加者たちが楽しく交流しました。

大会は神奈川県「デイリー相模原ボンバーズ」の優勝で幕を閉じました。

多様な表現に出会う場

第18回うしく現代美術展

11月18日から12月2日にかけて、市中央生涯学習センターを会場に「第18回うしく現代美術展」が開催され、多くの来場者が訪れました。展覧会では地元作家の作品が展示され、次世代を担う子どもたちと作家が交流する鑑賞会やワークショップなども期間内に開催されました。

ワークショップ「色ってなに？」では、子どもや保護者など約120人が会場の窓ガラスを色と



展覧会会場で作品に見入る来場者たち

りどりのセロファンで飾りました。参加した佐々木萌花さん（小学校3年生）は「セロファンを貼るのが楽しかった。重ねて貼ったら、思ってもみない色ができて驚いた」と感想を語りました。ワークショップの講師・後藤雅宣さんは「難しく考えず楽しめるように企画しました。子どもたちには、授業以外の日常生活でも『色』を楽しんでほしいです」と話していました。



窓ガラスに色とりどりのセロファンを貼ったよ

南中でアート・アカデミー



山本先生から紙の説明を受ける生徒たち

12月7日、牛久南中学校で1年生を対象に、文化庁の次世代を担う子どもの文化芸術体験事業「子ども夢・アート・アカデミー」が行われました。

今回は、日本芸術院会員で市内在住の洋画家、山本文彦先生を講師として招き、生徒たちは縫いぐるみや運動靴などお気に入りの題材を持ち寄り、画用木炭を使った素描による実技指導を受けました。男子生徒の1人は「木炭の持ち方次第で色の濃淡が変わって面白い」と興味津々の様子で絵を描きました。

平和の大切さを再確認

12月8日、市中央生涯学習センターで「平和の集い」が行われました。中学生平和使節団体験報告会では、7月から8月にかけて、広島市に派遣された平和使節団25人が、現地の被爆体験者から聞いた話などをもとに、平和の大切さ、命の尊さについて中学生の目線で伝えました。

続いて、牛久第二中学校の群読発表では、ジョン・レノンの「イマジン」の音楽に合わせ、「私の夢」「私の大切な物」などが、生徒たちの口から次々と語られました。講演会では俳優の岡本富士太さんが「今私たちがなすべきこと」をテーマに語り、観客は平和の大切さをあらためて確認している様子でした。



牛久第二中学校生徒による群読発表

そばに夢を託して

11月23日、奥野小学校を会場に「奥野小地区社協秋そば収穫祭」が行われました。この催しは、地元「奥野農業体験ひろばゆめ」で育てられたそばの収穫を祝うものです。秋そばは8月に種植えをして、大人と子どもたちが世代を超えて協力し、10月に収穫作業を行いました。

この日、先着500人に無料配布されたけんちん汁には、収穫したばかりのそば粉を使用したそばがきが入られ、冷えた体を温めようと多くの人が行列を作りました。会場を訪れた男性は、「地元そばを使ったそばがきはなかなか食べる機会がなく、おいしかったです」と満足した様子でした。



「そばがき入りけんちん汁」を食べながら、自然と輪ができました

難関を突破、第1号の特別級合格者



表彰状を受け取る河合さん(写真左)

11月15日、小川芋銭検定で第1号の特別級合格者となった市内在住の河合禎広(よしひろ)さんに、表彰状と記念品が渡されました。

河合さんは、定年後、小川芋銭について本格的に学び始めました。現在は芋銭を学ぶ会に所属し、日々研究に努めています。独自に92通の芋銭に関わる書簡などを集めて、勉強を重ね、3回目の挑戦で見事特別級に合格。

河合さんは「今後は小川芋銭の広報活動に励み、各学校への出前講座などで芋銭の魅力を広めたい。若い人にも牛久には小川芋銭という人物がいたということを語れるようになってほしい」と喜びを語りました。

花で心豊かに！ふれあい美花市民の会

心豊かな潤いのある活気に満ちた「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内20団体と幼稚園、小学校、中学校が一体となり毎年積極的に活動しています。また地域では、花づくりを通しての三世代の交流も盛んです。

ふれあい美花市民の会では、毎年、「花と緑の環境美化コンクール」(大好きいばらき県民会議主催)や「牛久市花いっぱい運動コンクール」(牛久市主催)に参加しています。会の活動として、花についてより深く知るためや会員同士の交流を図るための視察研修会、春の活動に向けての講習会などを開催しています。※新規団体随時募集中です。

問 市中央生涯学習センター ☎871-2301



「第40回花と緑の環境美化コンクール」審査結果

賞 名	部 門	団 体 名
花いっぱい運動特別奨励賞	学校の部	牛久第三中学校

「花壇で育てる基本は、
やはり土づくりから」

「第23回牛久市花いっぱい運動コンクール」審査結果

賞 名	ロード・地域団体の部	学校の部
会長賞	小坂花の会	牛久第二中学校
特別賞	むつみ区民会	中根小学校
努力賞	東みどり野シニアクラブ 小坂団地「花・仲間・地域作りの会」 牛久地区婦人会	下根中学校 牛久第一中学校 奥野小学校 岡田小学校 第一幼稚園



「牛久市花いっぱい運動コンクール」で努力賞を受賞した東みどり野シニアクラブ

園児が感謝の気持ち を込めてプレゼント

11月20日、市役所正面玄関に牛久幼稚園の園児たちが訪れ、市職員や交通安全教室などでお世話になっている交通安全教員に「いつもありがとうございます。お仕事頑張ってください」とみんなで作ったクリスマス飾りを渡しました。交通安全教員はほほ笑みながら「ありがとうございます。これからも交通安全のお約束守ってね」とプレゼントを受け取りました。



牛久幼稚園の園児たちがクリスマス飾りをプレゼント

紡ぎの輪クリスマス会 「クラウンとあそぼ!」

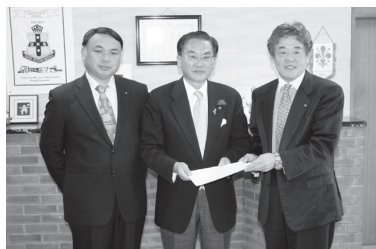


クラウン「びりとブッチー」と子どもスタッフ

12月2日、ひたち野リフレで紡ぎの輪クリスマス会「クラウンとあそぼ!」(牛久子育てネットワーク紡ぎの輪主催)が開催されました。風船がたくさん飾られた会場で、クラウンの衣装を着た子どもスタッフがお客様をお出迎え。ペンシルバルーンやネクタイを作って遊んでいると、いよいよクラウンの「びりとブッチー」が登場。手品や曲芸、歌などが披露され、みんなはハラハラドキドキ、きゃあきゃあ、わあわあ、と楽しい歓声が響いて、一足早いクリスマスを楽しみました。

市への提言書提出

11月30日、竜ヶ崎法人会牛久地区会(池田正純会長)から池辺勝幸市長に、提言書が手渡されました。同会は地域振興やボランティアなど地域に密着した活動を積極的に行っています。



有終の美茨城県大会で優勝

11月3・18・23日にリトルリーグ公式大会「第37回ミリオニックカップ・茨城県大会」が開催され、牛久リトルリーグ・メジャーチームが圧倒的な強さで優勝を飾りました。



賞状などを受け取り、喜ぶメンバー



牛久リトルリーグ・メジャーチームとマイナーチーム

秋季ソフトボール大会 牛久スピリッツ優勝

11月11日、牛久運動公園多目的グラウンドで「牛久市秋季ソフトボール大会」が開催されました。決勝戦では、「牛久スピリッツ」と久しぶりに勝ち上がった「松ヶ丘ライオンズ」が、豪快な打撃力をもって対決。「牛久スピリッツ」が投打ともに圧倒し、13対4で優勝しました。

混成陸上競技で 見事全国優勝！



混成陸上競技で優勝した飯島さん(写真左)

11月11日、神奈川県の小田原市城山陸上競技場で「第23回全日本マスターズ混成陸上競技選手権大会」が開催され、市内在住の飯島繁さんが男子M75（75歳〜79歳）のクラスで見事優勝しました。飯島さんは、走り幅跳びなど5種目で得点を競う「5種総合」で茨城県の記録を更新し、2617点を獲得。

11月29日、池辺勝幸市長を表敬訪問した飯島さんは「今年こそは優勝してみせるという思いでいました。『継続は力なり』ですね。健康の秘訣は歩くこと。楽しみながら老後の生活を送っています」と喜びを語りました。

「救急ボトル」

1500個寄贈

11月21日、牛久ロータリークラブ（小栗政克会長）が牛久市社会福祉協議会に、「救急ボトル」1500個を寄贈しました。

この「救急ボトル」は、独居老人などが自身の緊急連絡先や医療情報を記載した情報カードを「救急ボトル」に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、体調を崩して救急車を呼んだときに、駆け付けた救急隊員が対応や搬送を迅速にできるようにするものです。

小栗会長は「救急ボトル」を利用することで、市内の独居老人の方に少しでも安心していただければうれしいです」と話していました。



牛久ロータリークラブの皆さんと
池辺勝幸市長

歳末のたすけあい



集まった善意は要援護世帯への支援に使われます

12月6日、牛久市仏教会の僧侶9人による托鉢行脚が実施されました。

僧侶たちは、国道6号や牛久駅を通り、最後に牛久市役所庁舎に到着。庁舎内では、多くの職員が募金をし、歳末たすけあいに協力しました。多くの市民から寄せられた善意の総額33万2018円は、牛久市社会福祉協議会を通じて要援護世帯への支援に使われます。

寄付金のご協力ありがとうございます

12月6日、みどり野行政区から牛久市社会福祉協議会に、「第41回みどり野区文化祭」で行われたバザーの収益金5万円が寄付されました。この寄付金は、地域福祉の増進のために使われます。



11月30日、牛久市商工会女性部から池辺勝幸市長に、ふるさと応援寄附金としてバザーの収益金3万円が寄付されました。この寄付金は、市の目指す「子育て日本一のまちづくり」のために使われます。



